

大阪府宮寝屋川

東成田住宅

1982
~85

計画地は京阪香里園駅から東方1.5kmに位置し、良好な戸建住宅に囲われた東南斜面を持つ公営住宅（計画戸数96戸、1.87ha）である。

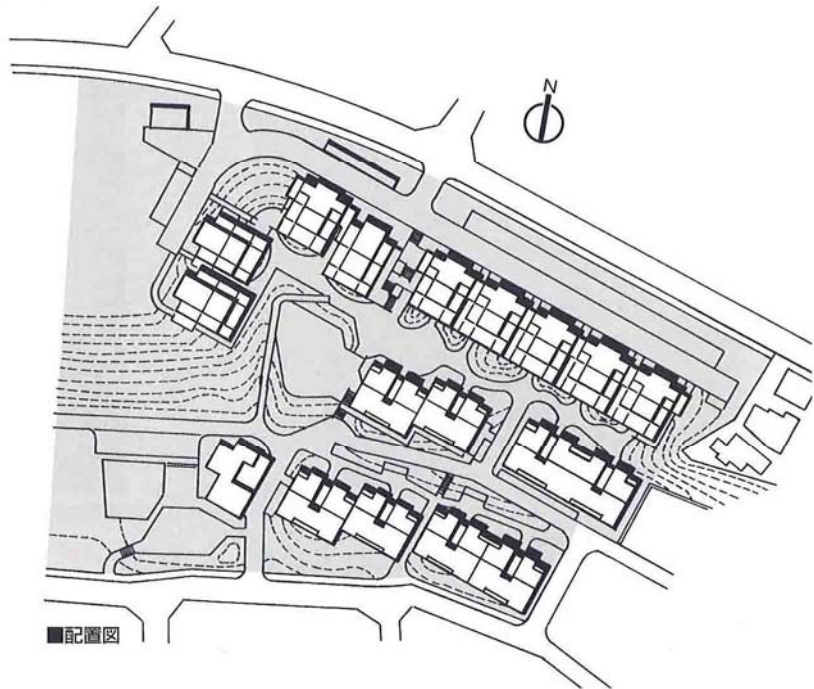
日当たりのよい東南斜面を持つ地区特性を生かした3つの住棟群で構成し、ペDESTリアンによりそれぞれを結ぶ。この通路に沿って、コモン広場や周辺地域に開かれた集会施設を配することにより、通路空間のコミュニティスペース化や「みち」空間の演出を図っている。

斜面の土圧は、住棟の構造体で耐圧して、圧迫感のある擁壁の設置を回避し、コストの低減化を図っている。特に斜面住宅は、各戸にルーフトラスを持つメゾネット住宅の組合せによる4層3住戸で接地性の高い住宅を提案している。

住棟がセットバックしていることを生かしたヒューマンスケール化と共に勾配屋根と分節化した階段室で変化と連続性のある景観が形成された。



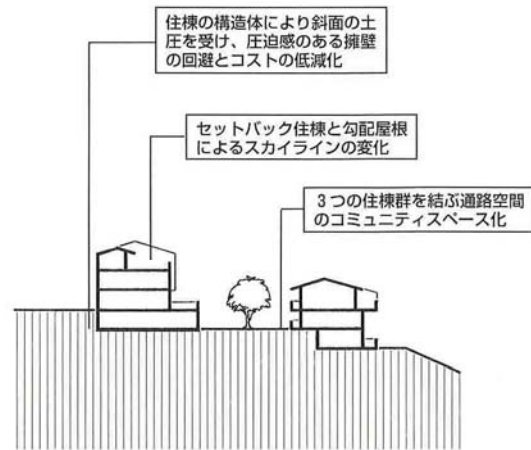
■南側外観



■配置図



■模型写真



■断面構成図